

創刊の辞

山陰研究センター長 田坂 郁夫

山陰研究センターは国立大学の法人化,ならびにこれに伴う学部改組にあわせ,2004(平成16)年4月に島根大学法文学部に学部内組織として設けられた。島根大学は地域に根ざした大学としてその憲章に,「特色ある地域課題に立脚した国際的水準の研究推進」,「地域問題の解決に向けた社会貢献活動の推進」を謳っている。法文学部においてもこの憲章を受けた形で,「地域社会との連携を深めて地域社会の要請に積極的に応えること」を教育・研究目標に掲げている。本センターはその推進のために,地域社会が抱える諸課題を学際的総合的に研究し,その成果を地域社会に還元する目的で設立されたものである。

山陰研究センターではその設立趣意に基づき,山陰地域を対象とする研究への経費支援,地域課題を考える研究会への支援を行うとともに,研究成果の社会還元として,研究報告会や講演会を催してきた。本紀要『山陰研究』もまた社会還元活動の1つであり,ここにその創刊号を刊行する運びとなった。掲載された8本の論文は力作ぞろいであり,本センターのこれまでの活動レベルの高さを示すものと自負している。

島根大学ではこれまでも山陰地域を研究する組織が設けられ,研究紀要が刊行されている。その1つは山陰文化研究所の『山陰文化研究紀要(1961~1984年,計24号)』,他の1つはこれを引き継ぐ形で設けられた山陰地域研究総合センターの『山陰地域研究(1985~1998年,計14号)』である。本紀要はセンターの設立母体・継続性からいって,上記の紀要を直接引き継ぐものではない。しかしながら,山陰地域における人文・社会科学の研究拠点を目指す山陰研究センターの紀要として,上記紀要に発表された諸研究の成果を受け継ぎ,発展させることも『山陰研究』に課せられた目標の1つであろう。

山陰研究センターに関わる全ての教員・研究者が地域の諸課題に対し,その英知を傾けた成果を生み出すことを約して,『山陰研究』創刊のことばとしたい。

